

スーパーブック日本版オリジナル・ディスカッションガイドについて

《はじめに》

この『日本版オリジナル・ディスカッションガイド』は、「スーパーブック」をただ観て終わるのではなく、観た後に、「本当に聖書にそう書いてあるのか」「あの出来事はどういう意味なのか」などを考えながら、個人であるいはグループで聖書を読み、話し合う助けになることを願って発行されました。ストーリーごとに様々なテーマを提案していますので、必要に応じてご利用いただければと思います。

《準備するもの》

DVDと上映環境、聖書、紙と鉛筆、グループの場合は司会者1名

《時間配分》

DVD（約30分）を観た後、このガイドに書かれた質問に答えていきます。観る前に質問を知らせておいてもよいでしょう。ディスカッションは20分で終わるようにテンポよく進めましょう。質問のすべてに答える必要はありませんし、聖書箇所すべてを開く必要もありません。状況に応じて①→②→③と進めていってください。

①導入——はじめに

祈って始めます。スーパーブックの感想を短く話してもらいながら、テーマへと話をつなげます。

②展開——考えてみよう

実際に聖書を開いて、DVDの内容を確認します。スーパーブックに応答する時間であり、議論する時間ではありません。解釈の難しい疑問が出て来た時は、そこで一時留めておき、あとで牧師に相談しましょう。

③適用——わかったこと

ガイドの「適用——わかったこと」の欄に書かれたことのうち、ひとつに取り組みればよいとしましょう。そこに祈りの勧めがあれば、みなでいっしょに祈ります。信仰告白への勧めがあれば、信仰告白へと進みましょう。信仰告白への導きは各教会でのやり方にお任せします。

《予告》

最後に、次回見る内容を予告します。

第1話 だましたのは誰？ ～天地創造の物語～

テーマ：不従順
創世記1～3章

リーダーの方へ

——神様のことばに従うことによって、この世界は美しく創造されました。ですから私たちも、神様のことばに従順であることによって、神様によって与えられた、本来持っている素晴らしさが引き出されるのです。

というように、神のみことばに従うことは祝福をもたらすということを確認して学びを始める、というのも1つの導入例と思います。

今回のキーワードは「不従順」です。それがもたらす悲しい結末。しかしながら、神は私たちが愛して、それで終わらせたくないと思っておられ、私たちを救う計画を立てておられます。そのことをこの学びで確認することができればと思います。

現代の世界はあまりにも汚い側面ばかりが目立ち、自分についても汚い側面だけが見えているかもしれませんが、《導入——はじめに》では、神が本来、私たち人間を素晴らしいものと見てくださっていることを確認します。《展開——考えてみよう》では、不従順がもたらす結果を確認し、神が新しく用意してくださっている祝福の計画（エレミヤ29:11）に従うようにと励まします。《適用——わかったこと》では、神を求めていき、神との関係を築いていくようにと励まします。何が良いか悪いかではなく、神との関係を求めていくことの幸いを、強調してくださいますように。

第1話 だましたのは誰？
～天地創造の物語～
ディスカッションガイド

①はじめに

- ・神様は最初に天地を創造しました。神様が造った自然界を見て、あなたはどう思いますか。
- ・神様は人間を創造しました。神様が造った人を見て、あなたはどう思いますか。
- ・神様は、ご自身が造った自然界や人を、どう思っていますか（創世記 1:31 を見てください）。

②考えてみよう

- ・約束を破られたことがありますか。もしくは、約束を破ったことがありますか。破られた人の気持ちはどんなでしょう。
- ・蛇に化けた悪魔は、「何を選ぶかに気をつけろ」と言いました。選択する先には結果がついてきます（申命記 30:19 を見ましょう）。今までで、選んで良かったと思うこと、悪かったと思うことを話してみましよう。
- ・蛇に化けた悪魔は、神様がアダムとエバに告げた命令をほんの少し変えています。聖書に書かれていることを、変えないで正しく理解するにはどうすればよいのでしょうか（Ⅱテモテ 3:16 を見てください）。
- ・神様から質問されたとき、アダムとエバは、自分たちが神様のことばに従わなかったことを認めましたか（創世記 3:12、13）。このことから罪とは何かを考えてみましょう。
- ・エレミヤ書 29 章 11 節を見てください。約束を破った人間を神は見捨てたのでしょうか。約束を破ったクリスを父親は愛していないのでしょうか。

③わかったこと

- ・何が本当に正しいことかを知るために、これからはどうしますか。誰の言うことを聞き、何を読み、どこに行きますか（ヨハネ 14:6、Ⅱテモテ 3:16 を見ましょう）。
- ・悪いことをしてそれを隠していたり、言い訳でごまかしたりしていませんか。そのせいであなたは自由でなくなっています。すべて認めて神様に祈りませんか（Ⅰヨハネ 1:9 を見てください）。
- ・エレミヤ書 29 章 11 節を読みましよう。神様はあなたを愛し、祝福しようと願っておられます。この神を受け入れませんか。

第2話 生けにえは息子 ～アブラハムの試練！～

テーマ：神様に喜ばれる使い方
創世記 22：1-19

リーダーの方へ

私たちはたくさんものを持っています。普段着ている服や勉強道具、大好きなマンガや大切にしている宝物。すべて神様が与えてくださったものです。私たちはそれを神様に喜ばれるように使っているでしょうか。神さまに喜ばれる使い方とはどのような使い方でしょうか。

第2話 生けにえは息子 ～アブラハムの試練！～ ディスカッションガイド

①はじめに

- ・自分が持っているもので、一番大切にしているものは何ですか。
- ・創世記 22：1-19 を読みましょう。

②考えてみよう

- ・クリスは、欲しかったゲームをもらえたのに、思っていたほどうれしくありませんでした。なぜだと思いますか。
- ・アブラハムがいちばん欲しかったものはなんでしたか。創世記 15：2 を読みましょう。
- ・神様はアブラハムにどんなことを約束してくださったでしょう。創世記 15:6-7 を読みましょう。
- ・アブラハムにとって、イサクはどれくらい大切だったと思いますか。
- ・なぜ、神様はイサクを捧げなさいと命じたのでしょうか。
- ・アブラハムが神様から祝福をいただけたのはなぜでしょう。創世記 22：12、16－18 を読みましょう。
- ・クリスに与えられたテストとは、どのようなテストでしたか。

③わかったこと

- ・自分が持っている大切なものを使って、神様に喜んでいただくにはどうしたらいいでしょうか。
- ・喜んで捧げる人に、神様は何をしてくださるのでしょうか。ピリピ 4：19 を読んでみましょう。
- ・神様のテストをクリアすると、どんな気持ちになるとと思いますか。
- ・神様は今日も私たちに小さなテストを与えてくださっています。それは、大切なものをだれかに分けてあげることかもしれませんし、だれかと時間をいっしょに過ごすことかもしれません。神様に喜ばれる使い方ができますようにと、お祈りしましょう。

第3話 長男VS次男一番争い ～ヤコブとエサウ～

テーマ：赦しと和解

創世記 25 章 19 節～ 33 章

リーダーの方へ

ヤコブとエサウは兄弟でしたが、次男のヤコブは父のイサクをだまして、長男エサウが受けるはずの権利（祝福）を奪い取ってしまいました。エサウはヤコブを殺したいほど恨みましたが、ヤコブは遠い所へ逃げてそこで生活しました。何年かたつと、神様はヤコブに生まれ故郷に帰るようにと命じました。兄エサウがこわいヤコブは、神様にエサウの手から救い出してくださいと祈ります。戻ってきて謝るヤコブを、エサウは赦し、温かく迎えます。ここに赦しと和解のプロセスが描かれています。キリストの十字架によって私たちの罪が赦され、聖なる神様との和解へ導かれたということを知りつつ、この回では、友だちに謝ること、また友だちを赦すことについて、話し合っていきたいと思います。

第3話 長男VS次男一番争い ～ヤコブとエサウ～ ディスカッションガイド

①はじめに

- ・ビデオを見てどう思いましたか。面白かったところ、またはよくわからなかったところがありますか。
- ・兄弟げんかをしたことがありますか。
- ・友だちに、いやな思いをさせてしまったことはありますか。
- ・友だちのせいでいやな思いをしたことはありますか。

②考えてみよう

- ・エサウがいる故郷へ戻る前、ヤコブはどんな気持ちだったと思いますか。あなたがヤコブだったらどんな気持ちになるでしょう（創世記 32：11、詩篇 32：3～4）。
- ・誰かを傷つけてしまったり、友だちとけんかをしたりすると、いやな気持ちがしますよね。どうすればいいでしょうか（マタイ 5：23～26）。
- ・もし友だちから、いやな思いをさせられたら、友だちを赦すことができますか。
- ・なぜ赦すことが大切なのでしょう（マタイ 18：21～35）。

③わかったこと

- ・今日の話を生活の中でどのように生かしたいと思いますか。
- ・これからは、友だちとけんかをしたり傷つけてしまったりしたら、どうしたらいいでしょうか（詩篇 32：5、103：12）。
- ・今日、謝らなければいけない相手はいますか。
- ・赦さなければいけない相手はいますか。

第4話 モーセよ、立ち上がれ ～エジプト大脱出作戦～

テーマ：神様の役に立つ人になるには
出エジプト記3章1節～4章12節

リーダーの方へ

私たちの信じる聖書の神は「語る神」です。神は最初に「光があれ」と語り、それ以降、語り続けています。一方パウロは「信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによる」（ローマ10:17）と言って、聞くことの重要性を教えました。神は「語る」存在ですが、信仰者は「聞く」存在です。アブラハムは聞き、預言者たちは聞き、イエスの母マリヤも聞きました。彼らは皆、神のお役に立った人々ですが、聞くことからすべては始まったのです。信仰者にとって「聞くこと」こそ大切であり、「聞くこと」で神との関係は深まります。「聞く」ことで、神のお役に立つことができ、神との新しい歩みを進めることができるのです。今日、どのようにしたら神から聞き、神の役に立つことができるのかを、モーセを手本として、共に考え、共に実行し、ひとりひとりが神のお役に立つ者となるように導きます。

第4話 モーセよ、立ち上がれ ～エジプト大脱出作戦～ ディスカッションガイド

①はじめに

- ・いまのビデオを見て、一番印象に残った場面を一つ教えてください。
- ・モーセは神様のお役に立った人です。皆さんは神様の役に立ちたいですか。
- ・どのような人が神様の役に立つことができるのでしょうか。モーセを参考に考えてみましょう。

②考えてみよう

- ・聞く人 → モーセは神様がお話しになるときに、神様のことばを聞きました（出エジプト 3：3-12）。「神は仰せられた。『わたしはあなたとともにいる。これがあなたのためのしるしである。わたしがあなたを遣わすのだ。あなたが民をエジプトから導き出すとき、あなたがたは、この山で、神に仕えなければならない』」（出エジプト 3：12）。
- ・行動する人 → モーセは神様が命じた通りに行動し、語りました（出エジプト 4：29、8：9）。
- ・お祈りする人 → モーセは神様と時間を過ごしました。そして神様に祈ると、奇跡がたくさん起こりました（出エジプト 8：30、10：18）。

③わかったこと

- ・神様のお役に立つには、神様といっしょに過ごすことが大切です。
- ・いつ、どのくらいの時間、神様といっしょに過ごすか決めましょう。
- ・聖書をどこから読んでいくか決めましょう。

第5話 金の子羊か神の約束か ～十戒物語～

テーマ：Ⅰ 規則（戒め）について、Ⅱ 神の赦しについて
出エジプト記 20 章 3 節～ 17 節

リーダーの方へ

このストーリーでは「モーセの十戒」がテーマになっています。イスラエルの民がモーセとの約束を破り、偶像を作り、その結果、偶像に従った者たちは滅ぼされます。ここに、神の律法に背く罪と、その罪の結果が示されています。しかし、それと同時に、律法を守れない人間の弱さと、神様の愛と赦しも描かれています。

律法は神様が与えてくださった、聖なる正しいものです（ローマ 7:12）。律法を定めた神様ご自身の性質がそこに表されています。聖い神様の律法には、私たちの罪を映し出す、鏡のような役割があります。律法を通して私たちは自分の内にある罪に気づくのです。このように、律法を通して神様の聖さを示され、そして自分の罪を知るときに、イエス・キリストの十字架の犠牲の愛と赦しの大きさを知ることができるのです。

ここにはテーマを2つ用意しました。まず、神様から与えられた戒めを守ることの大切さについて考え、次に、戒めを守れない私たちの弱さと、悔い改める時に赦してくださる神様の赦しについて考えていきたいと思います。

第5話 金の子羊か神の約束か
～十戒物語～
ディスカッションガイド

I 規則（戒め）について

①はじめに

- ・ビデオを見てどう思いましたか。
- ・規則は何のためにあると思いますか。
- ・クリスのように、規則があると破りたくなりますか。
- ・例えば、もし町中の信号が突然消えてしまったら（あるいは、スポーツでルールがなかったら）どうなるでしょう。

②考えてみよう

それでは、聖書では神様のルールについてなんと言っているか見ていきましょう。

- ・神様がイスラエルの人々に十戒やきまりを与えたのはなぜだと思いますか（申命記6:1～3、詩篇1:1～3、詩篇19:7～8）。
- ・神様の教えはいまも守ったほうが良いと思いますか。それはどうしてですか（Ⅱテモテ3:16、ヘブル4:12）。

③わかったこと

- ・今日の話を生生活の中でどのように生かしたいと思いますか。
- ・もし周りの友だちが、いっしょにルールを破ろうと言ってきたらどうしますか。「このくらい大丈夫だよ」と言われたらどうしますか。
- ・ルールはみんなの生活を守るためにあります。「神様の子どもとして、神様が与えてくださったルールを守って生きることができるようにしてください」とお祈りしましょう。

II 赦しについて

①はじめに

- ・今まで、ルールや約束を破ってしまったことはありますか。
- ・ルールを破ったとき、どんな気持ちがありましたか。
- ・もしルールを破ってしまったらどうすればいいでしょうか。

②考えてみよう

- ・思い出してみましょう。アロンは自分の間違いに気づいたとき、どうしたでしょうか。
- ・神様は、素直に謝る人を、どのようにされるとと思いますか（Ⅰヨハネ1:9）。

③わかったこと

- ・クリスは、元の世界に帰ってから、ルールを破ったことを謝りました。あなたなら、ルールを破ってしまったとき、どうしますか。
- ・神様は、素直に謝る人を赦してくださいます。「ルールを破ったら隠さずに素直に謝ることができますように」とお祈りしましょう。

第6話 一撃石なげ！ ～少年ダビデ対巨人ゴリヤテ～

テーマ：強くなるには

サムエル記第一 17章 1節～51節

リーダーの方へ

私たちの生涯には戦いがあります。何にでも戦う必要はありませんが、戦わなければ前進できない場合もあります。戦わなければ絶えず攻撃を受け続けることになるのです。ダビデがゴリヤテと戦って勝利したことでイスラエルは前進しましたが、ダビデが戦わなければほかに戦ってくれる者はいなくて、イスラエルは負けていたかもしれません。

あなたにしか戦うことができない場面があります。そのとき、あなたはどのように戦いますか。私たちそれぞれは弱いかもしれませんが、強くなる秘訣を聖書は教えてくれています。きょうはダビデを手本として「強くなるにはどうしたらよいか」を考え、いざという時に立ち上がって勝利するための秘訣を学びます。

第6話 一撃石なげ！
～少年ダビデ対巨人ゴリヤテ～
ディスカッションガイド

①はじめに

- ・いまのビデオを見て、一番印象に残った場面を一つ教えてください。
- ・ダビデはとても強い人で、皆を助け守りました。皆さんは強くなりたいですか。
- ・どうすれば強くなるのか。ダビデが何をしたかを手本にして考えてみましょう。

②考えてみよう

- ・神様を信じる → ダビデはゴリヤテと戦うとき、神様がいっしょに戦ってくださると信じました。「ダビデはペリシテ人に言った。『おまえは、剣と、槍と、投げ槍を持って、私に向かって来るが、私は、おまえがなぶったイスラエルの戦陣の神、万軍の主の御名によって、おまえに立ち向かうのだ』」（Iサムエル 17：45-47）。
- ・訓練をする → ダビデは羊飼いととして日頃から羊を襲う獣と戦って勝ち、からだを鍛えていました（Iサムエル 17:34-36）。
- ・油注ぎを受ける → サムエルから油注ぎを受けていました（Iサムエル 16：1-13）。

③わかったこと

- ・ダビデのおかげで、イスラエルも、クリスもジョイも守られました。皆さんには守りたい人がいますか。守るために強くなりたいと思いますか。
- ・強くなるには、神様を信じて、からだを鍛える必要があります。神様と過ごす時間、からだを鍛える時間をそれぞれ決めましょう。
- ・最後に油注ぎ（神様の力）を受けることが大切です。この油注ぎは神さまにお祈りすると受けることができます、いっしょに祈りましょう（使徒 1:8 を見てください）。

第7話 ダニエル 勇気の物語！ ～人間 VS ライオン？～

テーマ：強くしてくださる神様
ダニエル 6章

リーダーの方へ

この学びの目標は、「ダニエルを見習って正しいことをする」ではありません。神のみこころに従って正しく生きようとするときに、どんなに厳しい戦いが生じても、そこに神はいて助けてくださる、ということを確認すること、神ご自身に焦点を合わせることに、それが目標です。

《導入——はじめに》では、理想通りになれない自分の弱さと向き合うことができたら幸いです。《展開——考えてみよう》では、ダニエルを強くした神は自分をも強くすることのできるお方だということに目が向けられるようにします。《適用——わかったこと》では、その神と個人的な関係を持つように励まします。

どうか、正しいことが何かを知るだけで終わりませんように。この学びを通して、今も生きて働き、助けてくださる「救い主」に気づき、福音が確認できれば幸いです。

第7話 ダニエル 勇気の物語！
～人間 VS ライオン？～
ディスカッションガイド

①はじめに

- ・「勇気ある行動」というのは何をすることだと思えますか。一人ずつ言ってみましょう。
- ・「正しいこと」とわかっているけどできないときがあります。そんなとき、どういう気持ちになりますか。
- ・逆に「こわくてもやろう」と思えるときがあります。どうしてそう思うのでしょうか。

②考えてみよう

- ・王の前でダニエルは大胆に神様を証しします。なぜ大胆に証しできたのでしょうか。
- ・クリスは、危機の時に「正しいことは隠れてもできる」と言いましたが、ダニエルは隠れないうちに正しいことをしました。それはなぜでしょう（詩篇 34:9 を見てみましょう）。
- ・ダリヨス王は、ダニエルを助けることが正しいこととわかっていました。それなら、なぜ助けなかったのでしょうか（Iヨハネ 1:7 も見てください）。
- ・本当に正しいことをして生きるには、何が必要だと思えますか。
- ・ジョイが願ったように、正しいことをする勇気をあなたも欲しいと思えますか。それはどうしてですか。
- ・あなたは自分の生き方を誰に認めてもらいたいと思えますか。それはなぜですか。

③わかったこと

- ・ダニエルは、私たちと同じ弱さをもった人間です。そのダニエルに力を与えた神様に、あなたも信頼して生きてみませんか（ローマ 10:10 も見ましょう）。
- ・あなたが困っていること、たいへんだけれどやらなければならないことを紙に書いてみましょう。そして「神はここにいます」と口で言ってみませんか。
- ・日々の祈りは、ダニエルの場合のようにあなたにも力を与えます。あなたも取り組んでみませんか。

第8話 最高のプレゼントをゲット？ ～はじめてのクリスマス！～

テーマ：本当のクリスマスをお祝いしよう！

マタイの福音書 1章 18～25節、2章

リーダーの方へ

クリスマスには楽しいことがたくさんあります。プレゼントに楽しいクリスマスソング、ごちそうもあるでしょう。しかし、クリスマスを楽しく過ごすのは、いったい何をお祝いしているのでしょうか。神様がクリスマスにくださったプレゼントは受け取っていますか。

第8話 最高のプレゼントをゲット？
～はじめてのクリスマス！～
ディスカッションガイド

①はじめに

- ビデオを見て、面白かった場面や心に残った場面はどこでしたか。
- クリスマスで一番楽しかった思い出をお互いに話してみましょう。例えば、今までで一番うれしかったクリスマスプレゼントは何ですか。
- 誰かに、クリスマスプレゼントを何でも贈れるとしたら、誰に、何を贈りますか。

②考えてみよう

- クリスはクリスマスをどのように過ごしているのでしょうか。印象に残っているクリスのセリフはありますか。
- クリスマスは何をお祝いする日ですか。
- 神様の計画したクリスマスは、どのようにして実現しましたか。
- 私たちにクリスマスという素晴らしい日を与えてくださった神様は、どんな神様ですか。

③わかったこと

- 最初のクリスマスを見てきたクリスは、何か変わったのでしょうか。
- クリスが男の子に当たり券をあげたのはどうしてだと思いますか。
- 今日の話から、クリスマスの日をどのようにしてお祝いしようと思いますか。
- クリスマスは、神様が私たちのことを愛しているしるしとして、イエス様を誕生させてくださった日です。クリスマスの本当の喜びを、周りにも伝えましょう。

第9話 トリックじゃない、ミラクルさ！ ～イエス様の奇跡～

テーマ：イエスの全能の力、全能のイエスに信頼すること
マルコの福音書 2章 1～12節、4章 35～41節、5章 1～20節

リーダーの方へ

この回では、全能なるイエスの奇跡の力がテーマになっています。人の知恵によるマジックと神様の奇跡との違いが描かれ、人の注目を得るために行うマジックと、神の栄光を示す奇跡とが対比されています。マルコの福音書の3つの箇所からイエスが起こした奇跡が取り上げられていますが、ディスカッションでは、イエス・キリストの奇跡の力について、また、全能なるイエス・キリストに信頼することの大切さについても、話し合っていたいただきたいと思います。

第9話 トリックじゃない、ミラクルさ！
～イエス様の奇跡～
ディスカッションガイド

I テーマ：イエスの奇跡の力 ～寝たきりの男を癒す～

①はじめに

- ・ビデオを見てどう思いましたか。面白かったところ、またはよくわからなかったところがありますか。
- ・マジックを見たことがありますか。何かマジックはできますか。

②考えてみよう

- ・人間のマジックとイエス様の奇跡の違いはなんだと思いますか。
- ・イエス様の奇跡の力はどこから来ていたのでしょうか。
- ・イエス様はなぜ奇跡を行ったのでしょうか。

③わかったこと

- ・イエス様は、奇跡によって病気の人たちを癒しました。今、あなたの周りに病気の人がいいますか。その人のために祈りましょう。

II テーマ：信仰 ～嵐を静める～ どんな時もイエスに信頼しよう

①はじめに

- ・弟子たちは、ベテランの漁師だったのに、嵐がくると恐怖でパニックになりました。あなたは、どんなときに不安になったり、パニックになったりしますか。
- ・そのようなとき一番頼れるものはなんですか。または誰に頼りますか。

②考えてみよう

- ・あなたにとって神様とはどのようなお方ですか。
- ・あなたは、聖書の神様が自然をコントロールできることを信じますか。

③わかったこと

- ・今神様に一番助けてほしいことは何ですか（勉強？ スポーツ？ 友だちとの関係？）。
- ・そのことについて神様にお任せできるように、お祈りしましょう。

第10話 君の足を洗わせて！ ～イエス様 最後の晩餐～

テーマ：真のリーダーについて
ヨハネの福音書 13章 1～35節

リーダーの方へ

この回では、最後の晩餐の場面を通して、謙遜と「仕えるリーダー」について学んでいきます。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」ということわざがあるように、日本にも謙遜さを尊ぶ価値観はありますし、「仕えるリーダー」は、日本人にとって受け入れやすい概念だと思います。世間にはさまざまなタイプのリーダーがいますが、スーパーブックを通して、真のリーダーであるイエス様の姿を見ていきたいと思います。イエス・キリストは王の王、リーダーの中のリーダーでしたが、貧しい人や弱い人に仕えました。最後の晩餐の場面では、自ら身を低くして、弟子たちの足を洗い、真のリーダーの姿を示しました。そして、人々の罪を贖うために、十字架の死に至るまで従う態度をとったのです（ピリピ 2:1-9）。

第10話 君の足を洗わせて！
～イエス様 最後の晩餐～
ディスカッションガイド

①はじめに

- ・ビデオを見てどう思いましたか。面白かったところ、またはよくわからなかったところがありますか。
- ・リーダーとは、どういう人だと思いますか。
- ・リーダーになったことがありますか。

②考えてみよう

- ・この世のリーダーと、イエス様の違いは何だと思いますか。
- ・イエス・キリストは先生のような存在で、弟子がいて、多くの人がイエス様についてきました。しかし、イエス様はいばることなく、むしろ人々に仕えました。どうしてだと思いますか（マルコ 10：35～45 を見ましょう）。

③わかったこと

- ・あなたは、どちらのリーダーについていきたいですか。いばっているリーダー？ それともみんなのために働くリーダー？
- ・あなたなら、どちらのリーダーになりたいですか。

第11話 死なないで、イエス様！ ～十字架と復活の物語～

テーマ：イエスに会うには
マルコの福音書 16章1節～11節

リーダーの方へ

復活のイエスは一番初めに、マグダラのマリヤに姿を現しました。イエスが十字架上で私たちの罪を贖うために死んでくださったことは重大な出来事ですが、復活も同じくらい重大です。十字架と復活という歴史的事実は、福音というコインの表裏なのです。「イエスの十字架は信じられても復活は信じられない」と言う人もいますが、復活を信じられなければ、福音が与えるパワーも、福音が与える希望も、その人の中で半減してしまいます。なんともったいないことでしょう。それでは、どうしたらイエスの復活を信じて、福音の力を百パーセント得ることができるでしょうか。復活を信じるには、復活のイエスに会うしかありません。そういうわけで、この箇所では、「どうやったら復活のイエスに会えるのか」を、マグダラのマリヤを手本として、共に考え、共に実行し、ひとりひとりが復活のイエスにお会いできるように導きます。

第11話 死なないで、イエス様！
～十字架と復活の物語～
ディスカッションガイド

①はじめに

- ・いまのビデオを見て、一番印象に残った場面を一つ教えてください。
- ・復活したイエス様は、誰に最初に姿を現しましたか。「さて、週の初めの日の朝早くによみがえったイエスは、まずマグダラのマリヤにご自分を現された」(マルコ 16:9)。
- ・どのような人にイエス様はご自分を現すのでしょうか。マグダラのマリヤが何をしたかを参考に、考えてみましょう。

②考えてみよう

- ・イエス様を求める人 → マリヤはイエス様を求めていました。イエス様に香油を塗ろうとしていたのです。「さて、安息日が終わったので、マグダラのマリヤ……は、イエスに油を塗りに」(マルコ 16:1)。
- ・イエス様を捜す人 → イエス様はすでに復活しておられたので、お墓の中は空っぽでした。しかし、マリヤはあきらめないで捜しました。それでイエス様に会えました(ルカ 24:5以下)。
- ・イエス様を愛する人 → マリヤはイエス様を愛していたのでイエス様に会いに行きました。だからイエス様に会うことができたのですね。

③わかったこと

- ・イエス様に会ったことがありますか。会ってみたいですか。
- ・聖書には捜し求めるなら会えると書かれています(参照エレミヤ 29:13、ルカ 11:9)。
- ・あなたがイエス様に会ったのなら、イエスのことを誰に伝えようか考えてください。そして、その人のためにお祈りしましょう。

第12話 目からウロコ？ ～いじわる男サウロの決心！～

テーマ：どうしたら人は変わるのか
使徒の働き 9章 1節～25節

リーダーの方へ

私たちの周りにはいろいろな人がいます。良い人もいれば悪い人もいます。いっしょにいて楽しい人もいれば、苦手な人もいます。

パウロはイエスとの出会いを通して、性格が変えられ、考え方や言動が変えられ、生涯が変えられました。イエスを知る前は多くの人に害を及ぼしていましたが、イエスを知った後は、時間がたつにつれて人々に祝福を与える者に変えられていったのです。ペテロをはじめ十二弟子も、福音書に出てくる女性たちも、病気を癒された人々も、イエスに出会うことで変えられ、その生涯が喜びに溢れ、人々の祝福となりました。イエスと出会うことで人は変わるのです。毎日毎日イエスと会うことで、私たちは変えられていきます。今日は、パウロ（サウロ）を手本に「どうしたら人は変わるのか」を考え、最終的には自分のために、また苦手な相手のために祈ることを勧めます。

第12話 目からウロコ？
～いじわる男サウロの決心！～
ディスカッションガイド

①はじめに

- ・いまのDVDを見て、一番印象に残った場面を一つ教えてください。
- ・サウロはとても悪い人でしたが、イエス様を信じて良い人になりましたか。
- ・どうすれば人は変わることができるのでしょうか。サウロを参考に考えてみましょう。

②考えてみよう

- ・サウロがどれくらい悪い人であったのか、DVDと聖書でもう一度チェックしましょう。
→ ステパノを殺す人々に賛成し、皆に暴力を振るっていましたよね（使徒 8:1 を見ましょう）。
- ・サウロはイエスに出会って変わりました → 馬に乗って走っていると、空の様子が変わって……「ところが、道を進んで行って、ダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼を巡り照らした。彼は地に倒れて、『サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか』という声を聞いた。彼が、『主よ。あなたはどなたですか』と言うと、お答えがあった。『わたしは、あなたが迫害しているイエスである』……」（使徒 9:3-9。使徒 26：12-18 参照）。
- ・サウロはアナニヤに助けってもらって変わりました → 目が見えなくなったサウロのところにアナニヤが来て祈ると、目が見えるようになりました。サウロはバプテスマを受け、嫌っていたはずのイエスを人々に伝えるようになりました（使徒 9:10-20）。

③わかったこと

- ・イエス様に会おうと人は変わります。イエスに出会いましたか、毎日出会い続けていますか。イエスに会うとどんどん変えられていきます（Ⅱコリント 3:18）。
- ・アナニヤはサウロを助け、サウロのために祈りました。あなたも、苦手な人や嫌いな人に手を差し伸べて、その人のために祈りできるでしょうか。神様はお祈りを聞いてくださいます（ヨハネ 15：7、ローマ 12：21 を見ましょう）
- ・アナニヤはクリスに「神様にできないことはない」と言いました（参照マルコ 10：27）。そう信じますか。「神様にできないことはありません」と口に出して言ってみましょう。

第13話 地球最後の日！ ～ぼくらの黙示録～

テーマ：サタンに勝つには
ヨハネの黙示録 19章 11節

リーダーの方へ

ヨハネの黙示録の内容は複雑なので、それについて話すのは難しいと思う方がいるかもしれませんが、映像で観るならば理解しやすいと思います。スーパーブックはそのためにあります。今の世界に終わりが来ることをはっきり話し、また新しい天と地が来ることも話せばよいのです。悪魔(サタン)は今も、そしてこれからも攻撃をしかけてきますが、イエスを信じ、イエスのことばに従えば大丈夫です。最終的にサタンはイエスによって滅ぼされます。

クリスがサタンと戦っていますが、私たちにも当てはまることです。今回はクリスを手本に「サタンに勝つにはどうしたらよいか」、戦いを乗り越えるにはどうしたらよいかを共に考え、ひとりひとりが信仰生活の中で勝利できるよう導きます。

第13話 地球最後の日！

～ぼくらの黙示録～

ディスカッションガイド

①はじめに

- ・いま住んでいる世界に終わりが来るとしたら、どんなふうにと終わると思いますか。聖書は、いまの世界に終わりがくると教えています（Ⅱペテロ3：13を見ましょう）。
- ・サタンはどのような姿でクリスに近づいてきましたか。サタンは今もいるのでしょうか。「悪魔は初めから人殺しであり、真理に立ってはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです」（ヨハネ8：44）。「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています」（Ⅰペテロ5：8）。
- ・サタンが近づいてきたときは、どうやって戦いましょうか。どうやったらサタンに勝てるでしょう。クリスの例を参考に考えてみましょう。

②考えてみよう

- ・みことばが助けてくれる → クリスがサタンに襲われそうなとき、クリスのからだに輝き、聖書のことばを思い出しました。クリスは聖書のことばに助けられたんですね。「しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてください」（ヨハネ14：26）。
- ・聖霊が助けてくれる → ヨハネがジョイに聖霊について教えていました。聖霊は私たちと共にいて、すべてのことを教え、思い起こさせてくださる、と。聖霊がみことばを思い出させてくださいます。
- ・イエス様が助けてくれる → それでもクリスは危ない目にたくさんあいましたが、最後にイエス様が来てサタンをやっつけました。イエス様が助けてくれると信じるのが大切です。

③わかったこと

- ・戦いに備えて武装し、しっかり立つ。聖書はそうしなさいと教えています（エペソ6：13-18）。
- ・いつもイエスといっしょにいて、イエスを見つめていましょう（Ⅰペテロ5：8、ヘブル12：2）。
- ・みことばを暗唱する。いざというとき聖霊がみことばを思い出させてくださいます（エペソ6：17、ヨハネ14：26を見ましょう）。